

～プログラム～
 落語紹介
 古典落語
 色物(南京玉すだれ、紙切り)
 パペット落語



落語をもっと気軽に楽しんでほしいという思いから誕生した、笑福亭鶴笑オリジナルの落語。それがパペット落語です。鶴笑と人形の絶妙な掛け合いで言葉がわからなくてもビジュアル的に楽しめる新しい形の落語です。

■人形は鶴笑の手作り！
 パペット落語に登場する人形はすべて鶴笑の手作り！
 アトリエには鶴笑の分身ともいえる人形の数々が自分の出番を待っています。



新型落語とは？

漫才などの演芸におされ、落語という伝統芸能が、少しずつ離れていく。そんな危機感を抱きながら落語を続けていた鶴笑。若い人からお年寄りまで、みんなに楽しんでもらえる落語ができれば…。そんな思いであみ出した落語が、パペット落語です。今までの落語をよりビジュアル的に楽しめる。言葉の壁をなくし、世界の人々にも見てもらえる。世代を超えた落語の発展と国境を越えた世界を目指し、パペット落語は誕生しました。

さらに、紙切りや南京玉すだれ等の多彩な芸で、子どもからお年寄りまで、ミジンコからシロナガスクジラまで類人猿から火星までみなさまに喜んでいただいております。

笑福亭鶴笑 プロフィール

- 1984年 六代目笑福亭松鶴に入門 上方落語協会所属
- 1990年 ニューヨーク公演を皮切りに、世界各国で毎年、人形を駆使したパペット落語 公演を続ける国際派落語家として活躍。
- 2000年 海外に活動拠点を移す、シンガポール（4年間）とロンドン（4年間）で合計8年間の海外生活を経験
- 2006年 NPO法人「国境なき芸能団」の代表として、励ましの笑顔を届ける活動を通して、国際交流や国際貢献にも取り組む。
- 2014年 公演実績は世界35か国、100都市以上にのぼる。「チームお笑い国際便」を結成してアフガニスタンのカブールの病院や難民キャンプに笑いと救援物資を届けた。
- 2015年 文化庁「文化交流便」第一号（2003年）の経験をいかし、世界を目指す芸人の環境づくりや日本文化の理解と普及のための活動をしつつ、日本全国ボランティア落語キャラバンのも力を入れて社会貢献に取り組んでいる。パペット落語は、厚生労働省認可の児童福祉文化財になった。